

# 福祉サービス第三者評価 評価調査報告書

(保育分野)

運営主体：株式会社ポピンズ

ポピンズナーサリースクール 綱島

2019年1月8日作成

実施評価機関：

一般社団法人 日本保育者未来通信



日本保育者未来通信

## ○実施概要

事業所名： 株式会社ポピンズ ポピンズナーサリースクール綱島  
報告作成日： 2019年1月8日 (評価に要した期間6カ月間)  
評価機関： 一般社団法人 日本保育者未来通信

### 【評価方法】

#### 1. 事業者自己評価 【実施期間：2018年8月6日～2018年9月5日】

- ・施設長が第三者評価の主旨を職員に説明後、弊社作成の「職員振り返りシート」を使用し、各自が記入。その後、リーダースタッフミーティング、週末ミーティング、月末ミーティングを通して、全職員で協議し作成した。

#### 2. 利用者家族アンケート 【実施期間：2018年8月6日～2018年8月22日】

- ・配布：全園児の保護者（42家族）に対して、園から配布。
- ・回収：保護者が評価機関所定の回収BOXに投函し回収。

#### 3. 訪問実地調査 【実施日：2018年10月4日、2018年10月11日】

##### ■10月4日

- ①午前：各クラスの保育観察（0歳児、3・4・5歳児）
- ②午後：書類調査～事業者面接調査（施設長）

##### ■10月11日

- ①午前：各クラスの保育観察（1歳児、2歳児）
- ②午後：書類調査、職員ヒアリング（主任1名、栄養士1名、看護師1名、保育士1名、新人保育士1名）  
事業者面接調査（施設長）

#### 4. 利用者本人調査【実施日：2018年10月4日、2018年10月11日】

- ・全日、各クラスの保育観察を中心に、遊び、食事、排泄、午睡などを観察。
- ・乳児については観察調査、幼児については観察と遊びの時間の際に、会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

## ○評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについて総括)

### 【施設の概要】

ポピンズナーサリースクール綱島は、東京急行電鉄東横線綱島駅から徒歩 10 分の場所にあり、周辺には住宅街が広がっています。園は、平成 29 年 (2017 年) 4 月に株式会社ポピンズによって開設されました。運営法人は、首都圏を中心に認可保育所や小規模保育室、病児・病後児保育室、ベビーシッターサービス、学童クラブなどの保育・教育関連施設を運営するほか、高齢者在宅サービス他複数の事業を行っています。

当園の定員は、50 名 (0～5 歳児)、開園時間は、平日 7 時～20 時、土曜日 7 時 30 分～18 時 30 分です。

鉄筋構造 2 階建ての園舎は、1 階に保育室 (3 歳児室、4 歳児室、5 歳児室の 3 つ)、調理室、スヌーザールーム (子どもとゆったりと過ごせるスペース) があります。2 階は保育室 (0 歳児室、1 歳児室、2 歳児室の 3 つ)、職員室となっています。園舎内は白を基調とし衛生的で居心地の良い空間となっています。園庭には主に季節に応じた野菜や植物を栽培するスペースと、夏場にはプール遊びなどができるスペースがあります。

園の主な行事として、毎月の誕生日会に加え、春の遠足、懇談会【5 月】、スポーツフェスティバル【9 月】、ハロウィン、個人面談【10 月】、クリスマス発表会【12 月】、節分【2 月】、お別れ遠足、成長を祝う会、懇談会、卒園式【3 月】があります。

企業理念は「最高水準のエデュケアと介護サービスで社会に貢献します」、保育理念は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します」、保育の目標は、目標とする人物像として「 1. 寛容な人間、2. 聡明で愛情深い人間、3. 探求心の旺盛な人間、4. グローバル社会で活躍できる人間」としています。

## 1. 高く評価できる点

### ○職員は職種を超えて様々な場面で連携しています

日頃から職員間で連携し保育にあたっています。例えば、3・4・5 歳児で散歩に行った際は、職員間で子どもを見る配置を決め、子どもたちの状況に応じて声を掛け合いながら、ごっこ遊びの展開や、遊具での順番を守ることへの援助、また「鬼ごっこ」や「かくれんぼ」などの集団遊びを一緒に行っています。異年齢の子どもたちが自然と関わりながら遊ぶ中で、一人一人の子どもたちの意欲に応じて、十分に遊び込めるよう、常勤・非常勤の職員が連携しながら遊びに関わっていました。また、「食育」では、保育士、栄養士、看護師が職種を超え連携し、魚の解体を通して「いのちをいただく」という命の大切さや、健康、マナーなどについて子どもたちに伝えています。さらに栄養士は、子どもの喫食状況を保育士と共有し、一人一人の子どもにとって食事が楽しい場になるよう配慮しています。「安全管理」では、看護師は散歩先やプール遊びでの危険箇所などについて、保育士と共に現場で確認するなどの連携も図られています。さらに、看護師を中心に「保育中に子どもがのどに異物を詰まらせた場合」の対応についての内部研修なども行っており、安全面からも、子どもたちが十分に遊び込める環境づくりに保育士と共に取り組んでいます。「ミーティング」は、毎日行われる「リーダースタッフミーティング」をはじめ、「週末ミーティング」「月末ミーティング」があり、

その中で、子どもたち一人一人の家庭状況も含めた現在の姿を共有しています。日々の保育が子どもたちにとって最善な関わりとなるよう様々な場面で連携しています。

## ○研修体制が確立し、個々の職員に応じた人材育成に取り組んでいます

運営法人が主体で行う、新人研修、中堅研修、次期施設長研修、また、毎月1回非常勤職員を対象として行う研修など、職員一人一人の期待像に応じた研修体制が確立されています。研修後は、研修報告書に研修内容のポイントをまとめ、ミーティングなどを通して全職員で共有しています。また、研修や日々の保育などを通して培った個々の力量は、役割に応じて求められる姿が具体的に記載された「ポピンズジョブディスクリプション」と呼ばれる社内評価基準によって振り返ることができます。年2回の振り返りの際は、同時に施設長との面談も行い、さらに個々に求められる姿の客観的な助言が得られます。日常の保育では、主任が中心となり個々の職員の状況把握に努めています。例えば、各職員の提出物の状況を目安に、業務の進捗状況を確認し、一緒にスケジュールを立て取り組むなどの関わりをしています。また、必要があれば主任や看護師が保育に入り、書類を書く時間を作ることもあります。施設長や主任は、職員の保育の様子を観察し、直接現場で伝えたり、場合によっては個別の面談などを行い、精神的な面も含めた個々の職員の思いの把握にも努めています。これらの総合的な取り組みにより、個々の職員に応じた人材育成が行われています。

## 2. 独自に取り組んでいる点

### ○リトミックや運動カリキュラムなど、独自のプログラムに取り組んでいます

園では、運営法人から派遣される講師により、年齢や発達状況に合ったリトミックなどを行っています。リトミックは0歳児から5歳児まで週1回行っており、子どもたちは日常の保育の中でもそれらを取り入れ、自分なりの表現を楽しんでいます。また、運動カリキュラムを担当する職員がおり、毎月0歳児から5歳児までの発達に合わせた、カリキュラムを作成しています。作成されたカリキュラムは、各クラスで取り入れ行っています。これらの活動内容は、写真や文章でクラスごとに掲示しています。さらに、クラスごとに毎月特徴的な出来事や活動、子どもたちの様子などを取り上げ、「ドキュメンテーション」として写真と説明文で作成し、掲示しています。

### ○多文化教育に積極的に取り組んでいます

園では、「多文化教育年間計画」を立て、積極的に多文化教育に取り組んでいます。例えば、多文化教育年間計画に基づき、0歳児から食事の際には、英語の歌で挨拶をしたり、外国人講師によるバイリンガルのレッスンの時間を取り入れたりしています。毎月、一つの国をテーマとして、その国について楽しみながら学び、食事やおやつメニューにも取り入れ提供しています。室内には、テーマの国の代表的な動物や催し物などが写真で掲示されているとともに、普段使う時計の横にその国の時刻を示した時計も飾られています。10月はアルゼンチンがテーマの国でした。おやつの際は、「エンパナーダ」と呼ばれる、アルゼンチンのおやつが提供されていました。

### 3. 工夫・改善が望まれる点

#### ○園の専門性を地域に還元していくことが期待されます

子どもたちは、日ごろから地域の方と挨拶を交わしたり、ハロウィンなどの行事で地域住民と交流しています。また、港北区内公私立保育園合同育児講座のわくわく子育て広場（年1回）に参加し、園の情報提供及びアピールをするとともに地域のニーズの把握にも努めています。さらに、区内、近隣の保育園との情報交換を行っています。

しかし、一時保育、交流保育、園庭開放は、スペースの問題や開園2年目でまずは保育所内の充実を図ることに努めており、実施していません。保育所保育指針にも保育園の役割として地域子育て家庭に向けて支援が求められています。さらに、地域の育児支援ニーズを把握し、現状で行える子育て支援を工夫し、園の専門性を地域に還元することが期待されます。

評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類・評価項目	自己 評価	評価 結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p><b>評価分類 I - 1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成</b></p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が子ども本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 全体的な計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します。（人生で最も重要とされる乳幼児期において、養護を基盤とした教育を通じて子どもの最善の利益に資する保育を行う）」です。保育方針は「ポップズアプローチを実施し、子ども達が興味関心を持っているものを見極め、個々にあった発達を促します。保護者の思いを受け止めつつ、常に子どもの立場・視点に立ち、保育所保育指針に則した保育を行います。」としています。また保育目標は「目標とする人間像◎寛容な人間◎聡明で愛情深い人間◎探究心の旺盛な人間◎グローバル社会で活躍できる人間」とし、子ども本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ 保育理念、方針、目標は、教育及び保育に関する全体的な計画（全体的な計画）に記載され、玄関、スタッフルームにも掲示しています。ミーティングでは唱和を行い、全職員が理解し、基本方針に沿って日々の保育が行われています。</li> <li>・ 全体的な計画は、基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして運営法人が大筋の部分を作成しています。さらに園のミーティングにおいて、地域での行事や活動、周辺環境を考慮し、独自の取り組みなどについての計画を練り合わせて完成されます。</li> <li>・ 全体的な計画に基づき、年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。</li> <li>・ 活動前には、一日の予定や活動内容について、子どもたちの年齢に応じて分かりやすく説明しています。職員は子どもたちの意見や要望、態度や表情などから思いを汲み取り、指導計画に取り入れたり、計画を変更するなどして、子どもの気持ちを大切にしながら臨機応変に保育を進めています。</li> </ul>	
<p><b>評価分類 I - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園時には、保育士、看護師、栄養士とそれぞれ親子面接を行っています。子どもの様子を観察する他、ならし保育の打ち合わせや、既往症、食物アレルギー、配慮点などについて話し合い、面接記録を</li> </ul>	

<p>状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p> <p>(4) 乳児保育（0歳児）において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p> <p>(5) 1歳以上3歳未満児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p> <p>(6) 3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<p>残しています。家庭からは児童票を提出していただき、生育歴や家庭状況を把握しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ならし保育については、入園時の面接で十分に説明を行い、子どもの様子や保護者の就労状況など、各家庭に応じて柔軟に対応しています。</li> <li>・指導計画は子どもの発達や状況を複数担任の間でよく話し合いをした上で、作成・評価・見直しを行っています。</li> <li>・0歳児においては、子どもの表情や喃語などに、優しく応答的な関わりをしています。丁寧で穏やかに語りかけながら世話をしており、子どもたちは安心して過ごしています。室内は明るく、安全や清潔が確保されている環境です。一人一人の発達に応じた月間指導計画個人カリキュラムが作成されています。這う、立つ、歩く、それぞれの子どもたちが、十分に体を動かして遊べるように配慮して、声かけをしたり環境設定をしたりしています。</li> <li>・1歳以上3歳未満児の保育においては、月齢などに、個人差が大きくなる年齢なので、集団よりも一人一人の子どもたちに丁寧に対応していくことを大切にしています。排泄についても、個々の段階に合わせてトイレトレーニングを進めていきます。月齢、年齢に合わせた、運動カリキュラムを取り入れており、全身を使って運動遊びを楽しめるようにしています。まだ自分の思いをうまく表現できない年齢であるため、職員は、子どもの気持ちを代弁しながら、友だちとの関わりの中立ちをしています。</li> </ul>
<p><b>評価分類 I - 3 快適な施設環境の確保</b></p> <p>(1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。</p> <p>(2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。</p> <p>(3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「掃除マニュアル」に基づいて清掃が行われ、「衛生チェックリスト」により担当者の確認、清掃箇所などの漏れがないか確認されており、園内外は常に清潔に保たれています。</li> <li>・窓を開けて通風・換気をすることが可能であり、保育室内には空気清浄機を設置していて、気になる臭いを取り除く対策をしています。</li> <li>・保育室に温・湿度計を設置し、エアコンや加湿器を使用して適切に管理しています。</li> <li>・保育室は明るく、陽光を十分取り入れることができ、全ての窓にはロールカーテンが設置されているので、午睡時などに調節が可能です。照明も明るさの調節が可能です。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児保育室に沐浴設備、1、2歳児と3～5歳児の保育室に、それぞれ温水シャワーの設備があり、清潔に管理されています。</li> <li>・0歳児クラスは、隣の1歳児クラスとドアで行き来できますが、独立したスペースとなっており、少人数で落ち着いて過ごし、くつろげる空間になっています。1、2歳児、3～5歳児はワンフロアの保育室を活動によって仕切って用いており、日常的に異年齢の交流があります。毎月の誕生会や行事の時には、3～5歳児のフロアに、全クラスが集合して一緒に活動しています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅰ－４ 一人一人の子どもに個別に対応する努力</b></p> <p>(1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～2歳児は、月間指導計画個人カリキュラムを作成しています。幼児についても、発達上の課題が見られたり、特別な配慮が必要であったりする場合には、個別の指導計画を作成します。</li> <li>・個別の目標・計画は、一人一人の発達状況に合わせて、柔軟に変更や見直しをしています。担任と保護者で行う個人面談では、園と家庭での子どもの様子や、成長発達の今後の課題などが話し合わせられ、共有されます。面談や相談の記録が残され、月間指導計画個人カリキュラムの作成や見直しに保護者の意向を反映しています。</li> <li>・子どもや家庭の個別の状況・要望については、入園時に「児童票」、「児童健康票」、「食事調査票」などを保護者に提出してもらいます。入園後の子どもの成長を記録する「成長発達記録」があります。予防接種の状況などは、「児童健康票」に追加記録しています。</li> <li>・子どもの記録内容は、個別にファイリングされて、施錠できるキャビネットで管理されており、必要な際は、職員は確認することができます。</li> <li>・保育所児童保育要録を作成し、小学校に送付しています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅰ－５ 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b></p> <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園2年目の現在、特に配慮を要する子どもは在籍していませんが、受け入れる体制や専門機関との連携は整っています。個別のケースについては、週末ミーティングや月末ミーティングにおいて話し合いや共有がなされ、記録しています。</li> <li>・玄関はバリアフリーになっており、園舎内も段差が</li> </ul>



<p>内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>A</p>	<p>なく、エレベーターが設置されています。園医、港北区福祉保健センター、横浜市総合リハビリテーションセンターとの連携があり、保護者の同意を得て、助言や情報が得られる体制があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止マニュアルをもとに、職員への周知をしています。虐待が明白になった場合や、疑わしい場合、見守りが必要な場合は、迅速に関係機関との連携をとる体制があります。</li> <li>・施設長や職員は、家庭支援の必要な保護者には、日頃から気軽なコミュニケーションを心がけ、信頼関係の構築に努めています。</li> <li>・子どものかかりつけ医の診断による「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表（食物アレルギー・アナフィラキシー）」の提出を受け、それに基づきアレルギー対応食などの適切な対応を行っています。子どものアレルギーに関する情報は、ミーティングで全職員に共有されます。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもの保護者と栄養士は、月に1回の面談を行い、連携を密にしています。除去食を提供する際には、誤食事故を防止するため、専用のテーブルと椅子、色分けした専用トレイ、顔写真付きの食札を使用し、テーブルの配置場所にも配慮をしています。配膳の際には、栄養士と職員のダブルチェックを行います。また、アレルギー児の食事介助をする職員は、他の職員とは色違い（ピンク）のエプロンや三角巾を着用し、事故の防止に努めています。</li> <li>・「多文化教育年間計画」に基づき、0歳児から食事の際には、英語の歌で挨拶をしたり、外国人講師によるバイリンガルのレッスンの時間を取り入れたりしています。毎月、一つの国をテーマとして、その国について楽しみながら学び、食事やおやつメニューにも取り入れ提供しています。</li> <li>・意思疎通が困難な場合には、個別に丁寧に伝える、重要な事柄は日本語がわかる保護者に伝えるなど、その方の状況に応じた配慮を行っています。</li> </ul>
<p><b>評価分類 I - 6 苦情解決体制</b></p> <p>(1) 保護者が保育についての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決制度について、「重要事項説明書」に記載するとともに、別紙の苦情解決のための第三者委員制度が玄関に掲示されています。苦情解決責任者を施設長、苦情受付担当者を職員が務め、直接、第三者</li> </ul>

<p>できる仕組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<p>委員へ申し出を行うことができることも周知されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会や個人面談、保護者の代表が参加する運営委員会、保護者アンケートなどにおいて、保護者の意見や要望を聞いています。</li> <li>・苦情解決のための規定があり、第三者委員を交えて対応する仕組みがあります。外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がつくられています。</li> <li>・苦情記録簿があり、要望や苦情のデータは記録、蓄積され、今後に活かされています。</li> </ul>
-----------------------	----------	---

## 評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p><b>評価分類Ⅱ－1 保育内容</b>  <b>〔遊び〕</b></p> <p>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。</p>		<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に応じて、部屋ごとに子どもがおもちゃを自由に取り出したり片付けたりできるようになっています。ままごと道具、木製の野菜、積み木、型はめ、ひも通し、ブロック、人形、絵本、かるた、手作りのカメラなどを種類毎に分別するなど棚の位置や収納形態などの環境設定を行っています。</li> <li>・運営法人の姉妹園の年長児が集まり、カレーをつくったり、各園で考えた出し物を発表するなどの「デイキャンプ」と呼ばれる行事があります。その際に子どもたちの意見を取り入れ、手話で「はじめの一步」を発表することにしました。このように、子どもたちの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れています。</li> <li>・園庭では、オクラ、トウモロコシなど季節の野菜や子どもたちが苦手な野菜なども育て、収穫し、給食で提供することで、食育活動にフィードバックしています。子どもたちは、苦手な野菜も、自分たちで育てたことにより、よく食べるようになったとのことです。</li> <li>・園では、運営法人から派遣される講師により、年齢や発達状況に合ったリトミックなどを行っています。リトミックは0歳児から5歳児まで週1</li> </ul>

		<p>回行っており、子どもたちは日常保育の中でもそれらを取り入れ、自分なりの表現を楽しんでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は子どもの言葉や態度から一人一人の気持ちを受け止めるように配慮しています。例えば戸外遊びの中で、鬼ごっこをしている際に、始めは職員が鬼の役をしていましたが、子どもの「鬼をやりたい」という気持ちを受け止め、子どもたちが順番に鬼の役ができるように配慮していました。また、戸外先から園に戻る前に、「まだ遊びたい」という子どもたちの気持ちを受け止め、少し遊ぶ時間を延ばすなどの配慮をし、こうした関わりから信頼関係を築いています。</li> <li>・天気の良い日は必ず1回は戸外遊びを取り入れています。</li> <li>・運動カリキュラムを担当する職員がおり、毎月0歳児から5歳児までの発達に合わせた、カリキュラムを作成しています。作成されたカリキュラムは各クラスで取り入れ行っています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅱ－1 保育内容</b></p> <p><b>【生活】</b></p> <p>(7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に生かしているか。</p> <p>(10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> <p>(13) 長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自主性を尊重し、食べることを強制したり、偏食を直そうと無理に促してはいません。おかわりも自由にできます。</li> <li>・苦手なものを食べられた時は、十分に褒め、自信につなげることで、食べようとする意欲へつなげています。</li> <li>・「食育」では、保育士、栄養士、看護師が職種を超え連携し、魚の解体を通して「いのちをいただく」という命の大切さや、健康、マナーなどについて子どもたちに伝えていきます。また、低年齢児は、小麦粉粘土や寒天ゼリーを通して感触を体験する食育、3歳以上児はエプロンと三角巾を着用し、お月見団子作りなどにも取り組んでいます。</li> <li>・食器は、本物に触れるという運営法人の理念があり、陶器を使用しています。「落としたら割れる、壊れる」ということも学べるようにしています。完了食までは、スプーンですくいやすくするため縁が高い食器を使用しています。食器は、年齢に合わせて大きさなどを変えるなどの配慮があります。</li> <li>・栄養士は子どもたちの喫食状況をよく見るよう</li> </ul>

		<p>にしています。法人全体の献立があり、隔週ごとのサイクルメニューとなっているので、1回目の提供の際に子どもたちの様子をよく観察し、その喫食状況を踏まえて2回目の提供の際に盛り付けや調理方法に工夫を重ねていく配慮をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月発行する「Poppins News Letter」に献立作成のポイントを明記した情報提供や、レシピを紹介し、保護者が食事に対して関心がもてるようにしています。また、昼食とおやつのお食事サンプルを玄関入口に提示しています。</li> <li>・午睡時に眠たくない子どもや、早く起きた子は職員の側で静かに絵本を読むなどの柔軟な対応をしています。また、家庭の要望を受け、夜に眠れなくなる場合などは、午睡時間を短くするなどの対応をしています。</li> <li>・トイレトレーニングは、個人差を尊重し、一人一人の排泄のリズムをとらえ、子どもの様子を見ながら、おむつを替えたり、トイレに誘っています。トレーニングは、便座に座ることからはじめ、子どもの状況に応じて最初は短時間だけパンツにするなど、無理なく徐々に進めるように対応しています。</li> <li>・子どもの状態に応じ、ゆったりとくつろいで過ごすことができるよう、じゅうたんを敷いたり、ソファを置いたりしています。また、ゆったりと遊べるお絵描きコーナーやぬり絵のコーナーを設定するなどの工夫をしています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理</b></p> <p><b>[健康管理]</b></p> <p>(1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入から、お迎え時の保護者への伝達まで一貫して「健康観察表」という書式を使用し、子どもの健康状態や活動の様子を職員間で把握しています。引き継ぎの際は、一日を通して記載された、「健康観察表」に基づいて、職員間で引継ぎを行い保護者に伝えていきます。担任から伝える必要がある内容については、WEBシステムを利用した連絡帳である「ポピンズメモリー」を通して伝えていきます。また、予防接種をした場合は、「ポピンズメモリー」を使用し、保護者が受診した内容を入力し、職員が確認しています。職員は確認した内容を「児童健康台帳」に転記することで、最</li> </ul>

		<p>新の情報に更新しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断、歯科検診の結果は保護者に伝え、必要に応じて連携を密にし、保育に反映しています。また、健康診断・歯科検診の際に、希望がある場合は保護者の方から事前に質問をもらい、その内容を医師に確認し、看護師が書面にして保護者に渡しています。</li> <li>・運営法人作成の「感染症予防マニュアル」、「保健業務マニュアル」があり、健康管理に関する対応などの記述があります。それに基づき一人一人の健康状態を把握しています。看護師を中心に子どもたちに向けて、直接手洗い指導なども行っています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</b>  <b>[衛星管理]</b>  (4) 衛生管理が適切に行われているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健業務マニュアル」に「衛生管理マニュアル」も含まれ、「清掃・消毒マニュアル」も備えています。「掃除マニュアル」「衛生チェックリスト」に沿って衛生管理が適切に行われています。看護師は月1回開催される、運営法人全体の衛生に関する研修会に参加し、最新の情報を得て、ミーティングで園の職員に伝えています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</b>  <b>[安全管理]</b>  (5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。  (6) 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。  (7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理に関するマニュアルは「安全管理マニュアル」に記載され、入社時に全職員に周知するとともに、定期的にミーティングなどで見直しをしています。</li> <li>・事故や怪我が発生した際は、主に施設長と看護師が連携し、迅速な対応をしています。保護者への連絡や、伝達、またけがに関する記録などを主に看護師が実施し、専門的な立場から対応をしています。また、アクシデントレポートに記録し、内容をミーティングの中で振り返り、再発防止に努めています。また、看護師は、公園、プールなどで危険な箇所がないかを定期的に保育士と確認しています。</li> <li>・不審者などの侵入防止策として、園内に入るまでに2ヵ所の施錠を設け、職員は必ずモニターで顔と名前を確認して解錠します。また、園の実情に即した「不審者対応マニュアル」も作成しています。月に1回実施している避難訓練に加え、不審者対応訓練も行っています。また、セキュリティ</li> </ul>

		<p>会社と契約し、緊急時の通報体制を確立しています。</p>
<p><b>評価分類Ⅱ－３ 人権の尊重</b></p> <p>(1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p> <p>(4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けられないよう配慮しているか。</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は入社時に運営法人で人権についての研修を受講します。全職員が保育の基本として子どもの人格を尊重することを認識し、子どもの気持ちを受け止めることを大事にしています。また、ミーティングの中で定期的に「個性の尊重」や「子ども一人一人を大切にすること」などを振り返り、子どもの名前は呼び捨てにしないことはもちろんのこと、職員間で相互に子どもに対する声かけなどの言葉遣いについて振り返っています。</li> <li>・視線を意識せずまた、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所として、「スヌーザールーム」と呼ばれる部屋があります。そこにはじゅうたんが敷かれ、絵本が置いてあるなど、ゆったりと過ごせる設定がされています。</li> <li>・「個人情報保護運用マニュアル」があり、それに沿って守秘義務の意義や目的を全職員に周知しています。</li> <li>・遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をせず、ごっこ遊びなどの中で様々な役割を演じながら楽しめるよう配慮しています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</b></p> <p>(1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重要事項説明書」は個々に配布していると共に、保護者がいつでも閲覧できるように園の玄関に置いています。また、毎月の指導計画と毎週の指導計画を写真なども使用して掲示し、保育方針に沿った内容であることを保護者が理解できるようにしています。</li> <li>・保護者との情報交換は、WEBシステムを利用した連絡帳である「ポピンズメモリー」を使用しています。乳児クラスは毎日、幼児クラスでは任意で、子どもの様子を知らせています。</li> <li>・10月が個人面談の月となり、各保護者と面談を実施しています。また、面談は要望があれば随時受け付けています。</li> <li>・施設長は保護者の様子を見て、継続的な声かけをし、相談に応じています。また、電話でも継続的に働きかけ、家庭の様子を把握するように努めています。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の保育の様子を写真や文章でクラスごとに掲示しています。さらに、クラスごとに毎月特徴的な出来事や活動、子どもたちの様子などを取り上げ、「ドキュメンテーション」として写真と説明文で作成し、掲示しています。</li> <li>・保育参加については、好きな日時に参加できることを口頭や、「Poppins News Letter」などを通して伝えていきます。保育参加の際は、保護者に保育士の役を実施していただくことを伝えていきます。</li> <li>・保護者の自主的な活動への援助については、開園2年目ということもあり、今まで申し出はありませんが、申し出があった際は対応できるよう体制は整えられています。</li> </ul>
--	--	---

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<b>評価項目Ⅲ－1</b> <b>地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</b> (1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を生かしたサービスを提供しているか。		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みとして、毎月1回のスクールツアー（園見学会）において、育児相談を行っており、育児の悩みや相談、要望を保護者から直接聞いています。港北区内公私立保育園合同育児講座のわくわく子育て広場（年1回）に参加し、園のアピールをするとともに地域のニーズの把握にも努めています。</li> <li>・区内、近隣の保育園との情報交換を行っていません。開園2年目ということもあり、5歳児の在籍数が少ないですが、子どもにとってスムーズな就学ができるようにするため、近隣の5つの保育園合同で5歳児の小学校見学を行えるよう計画中です。</li> <li>・開園2年目の現在は、保育所内の充実を図ることに努めており、一時保育、園庭開放などは、スペースの問題などもあり、実施していません。現状で行える子育て支援を工夫し、園の専門性を地域に還元することが期待されます。</li> </ul>

<p><b>評価分類Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能</b></p> <p>(1) 地域の保護者や子ども等への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園２年目ということもあり、スクールツアー（見学会）内で育児相談を行っています。定期的な相談日を設けて行う育児相談は、実施していません。</li> <li>・園の情報は、区のホームページや、運営法人のホームページなどで提供しています。</li> <li>・地域の医療機関や、港北区福祉保健センター、横浜市総合リハビリテーションセンターなど、必要な関係機関はリスト化し、職員は情報を共有しています。関係機関との連携は、看護師が担当しています。日常的に連携ができる体制です。</li> </ul>
--	---	--

#### 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p><b>評価分類Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p> <p>(1) 保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園２年目ということもあり、保育所の行事に地域の保護者や子どもなどを招待した実績はありません。今後は地域開放や、地域コミュニティへの働きかけに、積極的に取り組まれることが課題となります。</li> <li>・地域の防災訓練に参加したり、ハロウィン、勤労感謝の日などの行事の際に、近隣の郵便局、民生委委員、リハビリセンターの方に協力いただき、お手紙を渡すなどの交流を進めています。</li> <li>・系列の近隣園と合同で、５歳児の園外活動を行ったり、サッカー大会を行ったりしています。</li> </ul>
<p><b>評価分類Ⅳ－２ 保育所における福祉サービスに関する情報提供</b></p> <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念やサービス内容などの基本情報を運営法人のホームページに掲載して、随時情報を提供しています。港北区わくわく子育て広場においても、園の情報を提供しています。</li> <li>・園の基本方針や利用条件・保育内容などについての問い合わせに対しては、常時対応できるように体制が整えられています。問い合わせは電話が多く、利用希望者には月１回のスクールツアー（見学会）を案内しています。都合がつかない場合には、個別の対応をしています。</li> </ul>



<p><b>評価分類Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</b></p> <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営法人の基準に沿った内容でボランティアの受け入れ体制が整えられています。現段階では、開園２年目ということもあり、まずは保育所内の連携と充実を図ることに努めており、ボランティアの受け入れの実績はありません。しかし、自治体による交通安全教室（年１回）、横浜市を通して行われる、地域のボランティア団体による読み聞かせ（年１回）を実施しています。また、今後は、中学生の職業体験などの受け入れも含め、地域での福祉の風土づくりの一翼を担っていく姿勢が示されています。</li> <li>・実習生受け入れのための、マニュアルなどが整備されていますが、現段階では、開園２年目ということもあり、実習生受け入れの実績はありません。一貫して示されている方針のもと整備されたマニュアルに沿って、実習生にとって有効な学びの場を提供する姿勢が示されています。</li> </ul>
---	----------	---

**評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上**

<p>評価分類・評価項目</p>	<p>自己評価</p>	<p>評価結果</p>	<p>評価の理由（コメント）・評価根拠</p>
<p><b>評価分類Ⅴ－１ 職員の人材育成</b></p> <p>(1) 保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか</p>	<p>A</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成については、役職に求められる内容や、それに対する自己評価、施設長評価を総合的に管理する「ポピンズジョブディスクリプション」にて計画が策定されています。また、年に２回、「ポピンズジョブディスクリプション」を使用して施設長面談を実施し、資質向上に向けた目標や達成度を施設長と共に振り返っています。</li> <li>・「教育訓練年間計画表」に沿って、職員一人一人のニーズにも配慮した研修計画が立てられています。その中で、園外の研修会の参加や、市で行われる研修に特定の職員に偏ることなく、全職員が積極的に研修に参加しています。</li> <li>・非常勤職員への情報伝達は、基本的には各担任がしています。状況に応じて施設長が橋渡し役をし、職員間のコミュニケーションがより円滑に図られるよう配慮しています。</li> </ul>

<p><b>評価分類V-2 職員の技術の向上</b></p> <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> <p>(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の振り返りは、「ポピンズジョブディスクリプション」にて年に2回行うとともに、日誌などを通して日々の振り返り及び自己評価を計画的に行っています。</li> <li>・園の「月間指導計画」、「週案」、「日誌」などには、職員が記入する評価・反省欄が設けられています。職員一人一人の振り返りは、各書類を通して行っています。施設長は各書類を確認し、特に子どもの姿と配慮点については指導し、明日への保育に活かしています。</li> <li>・年に2回行われる「ポピンズジョブディスクリプション」の反省を、施設長との面談を通しながら振り返り、自己目標設定に活かしたり、指導計画に反映させたりしています。</li> <li>・保育所の理念や保育方針に沿った保育所全体に関する自己評価は、職員一人一人が振り返りを行い、一人一人の結果をまとめ保育所としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいます。</li> <li>・保育所全体でまとめた評価は、内容を掲示し、保護者にも周知しています。</li> </ul>
<p><b>評価分類V-3 職員のモチベーションの維持</b></p> <p>(1) 総合的な人事管理が行われているか。</p> <p>(2) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度などを評価する仕組みとして「ポピンズジョブディスクリプション」を使用しています。</li> <li>・年に2回実施される施設長との面談を通して、職員の意向・意見や評価・分析などに基づき、改善策を検討・実施しています。また、その際に評価について職員に開示しています。</li> <li>・職員からの業務改善の提案、及び要望・満足度の把握には、運営法人の「キャリアプランアンケート」の提出により行っています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類・評価項目	自己評価	評価結果	評価の理由（コメント）・評価根拠
<p><b>評価分類VI-1 経営における社会的責任</b></p> <p>(1) 保育所として守るべき、法・規範・倫理</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「就業規則」「規程集」に、職員が守るべき法・規範・倫理などが明文化され周知されています。</li> <li>・運営法人のホームページ上にも、コンプライア</li> </ul>

<p>等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているか。</p> <p>(3) 保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	A	<p>ンスが掲げられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者代表が委員にもなっている運営委員会において、運営状況や財務諸表の情報の公開が行われています。</li> <li>・運営法人が実施する研修などから、個人情報の取り扱いや、ハラスメントなど、不正や不適切な事案についての情報が得られ、それを元に園内研修を行っています。</li> <li>・ゴミの分別に取り組み、ゴミを小さくして処分するなど、減量化に取り組んでいます。</li> <li>・子どもたちの制作活動に、素材として廃材を利用しています。</li> <li>・窓を開けて換気することを心がけています。使用しないスペースの電灯はこまめに消すなど省エネルギーに努めています。</li> </ul>
<p><b>評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b></p> <p>(1) 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念、方針、目標は、玄関、スタッフルームに掲示されており、いつでも確認できます。月末のミーティングにおいて、全員で復唱をしています。ミーティングや施設長による職員との面談において、理解の確認がなされています。</li> <li>・重要な意思決定の際には、保護者の代表が委員でもある運営委員会や、懇談会などで、意見交換をします。広く保護者の声を聴くために、意見箱を設置しています。</li> <li>・主任は、担任を持たずフリーとして保育にあたり、職員の業務状況を把握し適切な指導やアドバイスをしています。個々の職員の体調、業務量や残業量などにも目を配り、必要に応じて個別面談やシフト変更をして、精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう配慮しています。</li> </ul>
<p><b>評価分類VI-3 効率的な運営</b></p> <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営法人及び施設長は、保育所運営に影響のある情報を常に収集・分析しています。重要な情報は、ミーティングで報告、共有や議論がなされ重点改善課題として設定されます。運営面での重要な改善課題は、職員に周知し、保育所全体で取り組んでいます。</li> <li>・運営法人が作成する中長期計画があり、それに基づき園独自の単年度事業計画書が作成されて</li> </ul>

		<p>います。運営法人は、次代の組織運営に備えて、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討しています。</p>
--	--	--

## ○利用者家族アンケートの分析

### 【実施概要】

■実施期間：2018年8月6日～2018年8月22日

■実施方法：

- ・配布：全園児の保護者（42家族）に対して、園から配布。
- ・回収：保護者が評価機関所定の回収BOXに投函し回収。

■回収率：

- ・配布：42家族、回収：34件、回収率 80.9%

### 【結果の特徴】

●問1「園の保育目標や保育方針」について、「よく知っている」「まあ知っている」を合わせ、78.8%でした。また、そのうちの75.7%が「賛同できる」「まあ賛同できる」とし、「あまり賛同できない」「賛同できない」は0.0%でした。

●問2「入園する時の状況について」の6項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは、“保育園での1日の過ごし方についての説明”で、93.9%となっています。なお、“見学の受け入れについて”では、「その他」の回答が42.4%と多くなっています。その理由として、「新規設立園だったので見学なし」「見学していない」などのコメントが挙げられます。

●問3「保育や行事の年間計画について」の2項目では、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合は“年間の保育や行事についての説明”で、87.8%、“年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているかについて”で、75.8%となっています。一方で、両項目とも「どちらかといえば不満」「不満」の合計の割合が、12.1%でした。その理由として、「要望を出す機会がこれまで特にない為判断不可」「まだ2年目なので分からない」などのコメントが挙げられます。

●問4「日常の保育内容について」の「遊びについて」の6項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは“遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もっているかについて”、100%となっています。その他、5項目でも「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合は、87%を超えています。以下、その他5項目の割合です。

- |                              |          |
|------------------------------|----------|
| ・クラスの活動や遊びについては              | ・・・93.9% |
| ・子どもが戸外遊びを十分にしているかについては      | ・・・87.8% |
| ・園のおもちゃ教材については               | ・・・93.9% |
| ・自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については  | ・・・90.9% |
| ・遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | ・・・97.0% |

「生活について」の7項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは“基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについて”“お子さんの体調への

気配りについて”で、いずれも 100%となっています。なお、“おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについて”では、「その他」の回答が27.3%と多くなっています。その理由として、「まだその時期ではないので不明」「おむつはずしの年齢に達していない」「おむつが取れてからの入園で知らない」などのコメントが挙げられます。その他、4項目では「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合は、90%を超えています。以下、その他4項目の割合です。

- ・給食の献立内容については . . . 90.9%
- ・お子さんが給食を楽しんでいるかについては . . . 94.0%
- ・昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては . . . 94.0%
- ・保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には . . . 94.0%

●問5「保育園の快適さや安全対策などについて」の4項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは、“外部からの不審者侵入を防ぐ対策について”で、100%となっています。なお、施設の設備について“では「どちらかといえば不満」の回答が9.1%とやや多くなっています。その理由として、「入口はインターフォンでの解錠でなくカードなどがよい」などのコメントが挙げられます。

●問6「園と保護者との連携・交流について」の7項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは、“お子さんに関する重要な情報の連絡体制について”“保護者からの相談事への対応”で、いずれも100%となっています。なお、“開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には”では、「どちらかといえば不満」「不満」の合計の割合が、15.2%でした。その理由として、「18:30までのお迎えで、入室の時にタイムカードを押させてほしい。先生とゆっくり話せないのも」などのコメントが挙げられます。

●問7「職員の対応について」の5項目のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計の割合が最も高かったのは、“あなたのお子さんが大切にされているかについて”で、100%となっています。なお、“アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮について”では、「その他」の回答が24.2%と多くなっています。その理由として、「アレルギーなし」「分からない」「どう配慮されているか分からない」などのコメントが挙げられます。

●問8「保育園の総合満足度」は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせ、97.0%でした。施設への要望などの自由記述欄には、「常に1人1人の子どもを大切にいただいていると感じております」「皆さんとても話しやすく子どもも楽しんで過ごしている様子がうかがえ大変助かっております」という意見が多数あります。一方、「園の行事の開催日は、土曜日が仕事のため、土曜日よりも日曜日又は祝日の月曜日が望ましい」「駐車場もほとんど使用されていないので庭にして欲しい」などの意見があります。

### 【利用者家族アンケート集計結果】

アンケート回収数：34 （うち全回答未記入 1）

アンケート集計数：33

	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答
クラス別回収数	6	7	6	6	6	2	1

(%)

問1	よく知っている	まあ知っている	どちらとも いえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
あなたは、この園の保育 目標・保育方針をご存知 ですか	15.2%	63.6%	9.1%	6.1%	6.1%	0.0%

(%)

付問1	賛同できる	まあ賛同で きる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同できな い	無回答
あなたは、その保育目標 や保育方針は賛同でき るものだと思いますか。	51.5%	24.2%	6.1%	0.0%	0.0%	18.2%

問2：お子さんが入園する時の状況について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	33.3%	9.1%	6.1%	6.1%	42.4%	3.0%
	その他：「見学していない」「新設のため事前見学はありませんでした」					
入園前の見学や説明など、園から の情報提供については	36.4%	24.2%	15.2%	6.1%	15.2%	3.0%
	その他：「入園前に問い合わせをしていない」「受けていません」「新設だったためなし」					
園の目標や方針についての説明 には	42.4%	45.5%	3.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	その他：「覚えていない」					
入園時の面接などで、お子さんの 様子や生育歴などを聞く対応 については	63.6%	21.2%	3.0%	6.1%	6.1%	0.0%
	その他：「特に印象なし」					
保育園での1日の過ごし方 についての説明には	60.6%	33.3%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
	その他：「覚えていない」					
費用やきまりに関する説明に ついては（入園後に食い違いが なかったかを含めて）	57.6%	30.3%	3.0%	6.1%	3.0%	0.0%
	その他：					

問3：保育や行事の年間計画について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての	54.5%	33.3%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%

説明には	その他：「要望を出す機会がこれまで特にない為判断不可」「まだ2年目なので分からない」「要望は出せている（行事が2週目に入っていない）」「新設のため前例なし」「そのようなことは聞いたことがない」					
年間の保育や行事に、保護者の要望が生かされているかについては	39.4%	36.4%	9.1%	3.0%	12.1%	0.0%
	その他：					

問4：日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては（お子さんが満足しているかなど）	63.6%	30.3%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
子どもが戸外遊びを十分にしているかについては	63.6%	24.2%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
園のおもちゃ教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）	69.7%	24.2%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：いつも同じおもちゃになりがち。					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もっているかについては	69.7%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	66.7%	30.3%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					

(%)

「生活」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	78.8%	12.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	75.8%	18.2%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	75.8%	24.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	78.8%	15.2%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
	その他：「年長児は昼寝をもう少し短くしてほしい」、「不明」					



おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	42.4%	18.2%	6.1%	3.0%	27.3%	3.0%
	その他：「まだその時期ではないので不明」「おむつはずしの年齢に達していない」「おむつが取れてからの入園で知らない」					
お子さんの体調への気配りについては	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	66.7%	27.3%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
	その他：「まだ分からない」「機会なし」					

問5：保育園の快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
施設設備については	72.7%	15.2%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%
	その他：「入口はインターフォンでの解錠でなくカードなどがよい」					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	72.7%	24.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	69.7%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	72.7%	21.2%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%
	その他：					

問6：園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	54.5%	42.4%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	66.7%	30.3%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	66.7%	30.3%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	60.6%	39.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					

保護者からの相談事への対応には	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	48.5%	30.3%	9.1%	6.1%	6.1%	0.0%
	その他：「18：30 までのお迎えで、入室の時にタイムカードを押させてほしい。先生とゆっくり話せないの」					

問 7：職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	84.8%	15.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	78.8%	18.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	60.6%	15.2%	0.0%	0.0%	24.2%	0.0%
	その他：「特になし」「アレルギーなし」「分からない」「どう配慮されているか分からない」「ない」「対象外」					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	78.8%	18.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					
意見や要望への対応については	66.7%	30.3%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他：					

問 8：保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	69.7%	27.3%	3.0%	0.0%	0.0%

## ○利用者本人調査

### 【実施概要】

【実施日：2018年10月4日、2018年10月11日】

- ・全日、各クラスの保育観察を中心に、遊び、食事、排泄、午睡などを観察。
- ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と遊びの時間などに適宜聞き取り調査を実施。

### □0歳児クラス

観察日は小雨模様の天候で、午前のおやつ後は室内遊びの時間となりました。ハイハイをする子どもが3名、歩く子どもが3名おり、それぞれに動きや移動のスピードが異なるため、職員は注意深く目を向けながら子どもたちの保育にあたっています。

はじめに、2m くらいの長さのナイロン製トンネルを畳んだ状態で準備し、職員が触ってみたり、広げてみたり、楽しそうにトンネルに入ったりしました。その姿を子どもたちは興味深く見ており、段々と近づいて、喜んでトンネルを通り抜ける子ども、職員と一緒に中を覗くものの進めない子どもなど、それぞれに違う反応をみせました。しかし、トンネル遊びは中をくぐることだけが目的ではなく、個々の子どもに応じてトンネルに関われるよう、職員は声かけをしていきました。反対側から声をかけ、トンネルの中に誘ったり、外側からトンネルに触れて一緒にゆらゆらと揺らしてみたりして遊ぶうちに、どの子どもたちもトンネルの周りで笑顔になって楽しんでいました。

次に、トンネルをしまいマットが準備されました。「手をたたきましょう」の歌に合わせて「たんたんたん」とマットをたたき歌やリズムを楽しみながら、マットに触れていきます。マットの下に遊び用の布団を入れて山をつくり、山の上からボールを転がすと、歩く子もハイハイの子も、ボールに注目して追いかけていきます。ボールを持ったり転がしたりしながら、手や足を活発に動かしてあそんでいます。さらに、マットを坂道と滑り台に変形して、一人ずつ「しゅっ〜」と滑って遊びます。活発な子が何度も繰り返し滑りたがっていた場面では、職員と順番を待ちながら、次に滑ることを楽しみにする姿がありました。どの遊びも職員はスキンシップをとりながら、楽しく安心して遊べるよう、また危険な衝突や転倒なく安全に遊べるよう子ども同士の距離などにも配慮していました。

片付け時には、マットを畳むと風がおきるのを「ペタン、ペタン」と楽しんだり、ボールを見つけてカゴに入れることを楽しんだりしています。一つ一つの小さな活動も、職員の声かけや配慮により、好奇心を持って五感や身体を使い遊びのように楽しんでいる様子が見られました。

その後、職員が子どもたちの好きな絵本「だるまさんの」を読むと、一緒に身体を揺らしたり、声を出したりして最後まで集中して絵本を楽しみました。

昼寝や昼食（授乳）は、月齢や発達の段階、家庭での状況などにより、個々のペースを大切に、落ち着いた穏やかな雰囲気の中ですすめられていました。

## □1 歳児クラス

1、2 歳児クラスは、ワンフロアで、中央辺りにあるソファを使って部屋を仕切っています。手洗い場となる水道と、トイレは各クラス用の場所があります。

観察日は、歯科健診が行われました。園医が優しくにこやかに声をかけていますが、1 歳児クラスは、ほとんどの子どもたちが泣いていました。しかし、職員に抱かれて気持ちを代弁してもらううちに、徐々に落ち着いていきます。一人ずつ水道で手洗いをし、座って待っていると 1、2 歳と 0 歳児の高月齢の子どもが合同で集まり、午前のおやつの時間です。「おいしいね」「お茶飲みますか」「さっき、歯をみてもらったね」など、職員と会話を楽しみながら、また時には周囲の子どもたちと関わりを持ちながら、ゆったりとした雰囲気の中でおやつを食べました。

おやつの後には「今日のお野菜」として、白菜が準備されて職員は「これなんだ？」と子どもたちに問いかけます。「あなたのお名前は？」の歌遊びも取り入れながら、楽しくやりとりし、子どもたちも実際に手で触れたり、においを嗅いだりして、この日の昼食に提供される白菜について学んでいます。

遊ぶスペースに戻ると、自分の好きな絵本を選んで読んでいます。同じ絵本を友だち同士で取り合うことになってしまうと、「○○ちゃんも見たいって」「終わったら貸して」「ゆっくりでいいよ」と、職員は子どもの気持ちを代弁し仲立ちをしながら、関わり方を伝えています。その間に、一人一人に丁寧に声かけをしながら、おむつ交換や排泄の時間をとっていました。

体操の前に、みんなで「おばけなんてないさ」「あめかな」の絵本を見て、職員と一緒に歌ったり、絵本に出てくる言葉を復唱したりと楽しんでいます。

「ラーメン体操」「ペンギン体操」「わぁお」「できるかな」の、子どもたちの大好きな体操の音楽をかけると、ポーズをきめたり、ところどころ一緒に歌ってみたりして、職員や友だちと笑顔を交わしながら元気に体を動かしています。

その後、座って「はたらくるま」の紙芝居を見て体を休ませ、水分補給のお茶を飲みました。その際に、「次はブロックで遊ぶこと、遊び終わったらお昼ごはんということ」を、この後の見通しができるように職員が話をしました。

ブロックが準備され、最初に「座って遊ぶ」「貸して、あとで、あるよ、とお話すること」と約束をしてから遊びはじめます。ブロックを組み合わせ「見て～」と職員に見せに行く子どもや、マイクに見立てて歌を歌い、職員のリードで発表会のように披露する子どもなど、それぞれの楽しみ方を見つけてブロックで遊んでいます。

## □2 歳児クラス

・観察日は歯科健診があり、順番が来るまでは、職員と手遊びをして待ちました。不安な子に対しては職員は抱っこをし、安心できるように配慮していました。歯科検診後は、歌を歌ってから朝のおやつをみんなで食べました。おやつの時間では、歯科検診の時の様子を「あ～したの?」「上手だったね」などの会話を職員と楽しんでいます。朝おやつ後に、昼食で使われる白菜を職員が紹介し、子どもたちは順に手触りやおいなどを嗅ぐ経験をしていました。

観察日は小雨模様の天候でした。職員は子どもたちに対して、「今日は雨が降っているけど、外で遊べ

るかな？」などの対話をしながら、「クレヨン、折り紙、のり」を使って制作活動をすることを伝えていました。制作の前に、布パンツの子どもから2~3人ずつ順番にトイレに行き、待っている子は職員と絵本を楽しんでいました。子どもたちはトイレを済ませると、職員から名前を呼ばれ、順に席についていました。席に着くと、職員は子どもたち一人一人が好きな色を選べるよう、いろいろな色の折り紙を見せ、子どもたちはゆったりとした時間の中で自由に好きな色の折り紙を選んでいました。子どもたちが好きな色の折り紙を選び終わると、職員は「三角お山に折る」など子どもにもわかりやすい言葉で、折り方を伝えていました。折られた折り紙は糊で画用紙に貼り、その折り紙を個々の子どもが、「バス、アンパンマン、ぶたさん」などに見立てていました。折り紙の周りに、一人一人の子どもたちのイメージに沿って、クレヨンを使って自由に描いていました。職員は子どもたち一人一人に“何を描いたのか”を尋ね、子どもたちが描いたものが分かるように、画用紙に記入していました。子どもたちのペースに合わせ、「まだ描きたい」という子に対しては、せかすことなく十分に満足できるまで、時間をとっていました。子どもたちが描き終わると、職員は子どもたち一人一人の絵を、子どもたち全員で見る場面をつくり、描いたものの共有をしていました。

### □3歳児・4歳児・5歳児クラス

・3・4・5歳児合同で2人1組になって手を繋ぎ15~20分ぐらいの道のりの公園に散歩に行きました。散歩中は、「いちごジュース好き」、「雨降りそうだね」などの会話を職員と楽しみながら歩いていました。また、途中ですれ違う、清掃している近所の方や、犬の散歩をしている方などとも挨拶を交わす姿が見られました。道路を渡るときは、「右、左、右、前、後ろ」を確認し、手を挙げて渡っていました。信号を待っている時は、「道路側におへそを向けます」など、職員は子どもに分かりやすいように、交通安全のルールなどを伝えていました。また、年上の子が道路側を歩くなどにも配慮していました。

公園に着くと、子どもは一列になって座り、職員は、「遊べる遊具の説明、公園の外に行ってはいけないこと、また「帰るよ」と言ったら元の位置に座って、お茶を飲んで帰ること」など公園での遊び方を伝えていました。その間に、別の職員が公園内に危険なものがないかを確認していました。職員からの話が終わると、当番と呼ばれる子どもが前に出て、職員と共に、「屈伸、グーパージャンプ、アキレス腱を伸ばす」などの体操を全員で行っていました。

職員は、複合遊具（滑り台、太鼓橋など）など、それぞれ主に子どもを見る場所を確認し、連携して保育をしていました。子どもたちは、イスの下で、2~3人の異年齢の友だちで集まり、小さな砂山を作ってケーキに見立て、ケーキ屋さんごっこをして遊んだり、そこに職員も呼んで、誕生日会ごっこなどを楽しんでいました。また、葉っぱの上に砂をのせてお料理ごっこなどもしていました。子どもが砂に隠れたマンホールを見つけ、職員に「ここに鍵穴あるよ」など伝えていました。職員も、子どもたちの発想を受け止め、「開くかな？」などの会話を楽しむ姿が見られました。前後に揺らす遊具では、異年齢の子が何人か並んでいると、そこに職員がついて、順番などの援助をしていました。その際に、約束など守れなかった子に対しては、1対1でその理由などを、丁寧に説明する姿も見られました。

途中で雨が少し降ってきたので、職員が園に戻ることを伝えると、子どもたちが「もっと遊びたい」と応えていました。それに対して遊ぶ時間を少し延ばすなど応答的な関わりも見られました。その後、雨が止んできたので、職員と一緒に、異年齢で鬼ごっこなどの遊びを楽しんでいました。その際に、職員は一斉の活動として行うのではなく、自然と遊びたい子が集まって鬼ごっこを楽しんでいました。その後、

鬼ごっこは、かくれんぼに変わり、かくれんぼも参加したい子どもたちが、何人かの職員と一緒に楽しむ姿が見られました。5歳児の子が「僕も鬼をしたい」と職員に伝えると、それに応えて、職員から子どもへと鬼の役割を変えて遊んでいました。

帰る時間になると、元の位置に座り、小さな紙コップでお茶を飲み、飲み終わったコップは当番さんが集めていました。職員が「20秒で並んでみよう」と子どもたちに伝えると、子どもたちは楽しそうに、行きと同じように並ぶ姿が見られました。

## ○事業者コメント

開園2年目ということもあり、もう少し長く運営しないとわからない、できないような設問が多かった。特に地域に開かれた運営の地域支援の分野に課題があるが、一時保育や園庭開放はスペース(定員いっぱい)の問題もあり今後も実施できない。また子育て拠点「どろっぷ」がすぐ近くにあるため、地域の子育て支援が充実されているため、何に取り組んだらよいか悩み大きい。工夫が必要と思われる。

第3者評価をうけるにあたり、職員が自分たちの取り組みについて自己評価し、時間をかけてみんなで話し合ったことは、今後の自分たちの力になってゆくことと思う。保護者97%のかたから「満足している」と言っていたこと、職員一同、励みにもなり喜びになった。